

外ヶ浜町文化財一覧

令和元年5月1日現在

種別 (条例上の種別)	名称	員数	住所 所在地	指定年月日	文化財の概要
1 有形文化財	武者絵懸額	10	外ヶ浜町蟹田大平山元	1995/12/18	蟹田大平地区「大平八幡宮」に奉納されている幕末期の極彩色で描かれた大型の懸額です。安政から文久にかけて、「大平村中」、「大平若者」などによって奉納されています。武者絵には、鎌倉武士を題材にし、「林泉」や「春信」等の作者名も記されています。これらは、北陸地方、日本海側に多く見られるもので、北前船に関わりあり、その当時の交流や民間信仰が窺うことができます
2 有形文化財	付合い句懸額	2	外ヶ浜町蟹田ノ沢	1995/12/18	「蟹田八幡宮」に俳句の上達を祈願し奉納された、俳句の技法のひとつ「付合い句」とよばれる俳句を連ねたものを懸額しています。嘉永年間に1面と文久年間に1面の計2面があり、願主は「松前城下瀬川屋甚作」「山内そのめ」とあり、幕末の動乱期にも俳句を嗜む人々がいたことを物語っています
3 有形文化財	漁労懸額	2	外ヶ浜町蟹田塩越	1995/12/18	明治39年に遭難した鯖漁の乗組員が奉納したものです
4 有形文化財	赤平清兵衛塔	1	外ヶ浜町蟹田塩越	1995/12/18	江戸末期の船給業者「赤平清兵衛」の墓で、子息のひとりと伝わる「越中富山大郷屋清藏」が安政2(1855)年に建立しました。北前船で来た蟹田の船匠と、上方(北陸地方でしようか)の石材が用いられています。「塩越共同墓地」の中央に位置し、集落を見守っています
5 史跡	蟹田奉行所跡	1	外ヶ浜町蟹田上蟹田	1995/12/18	寛政年間におかれた奉行所の跡といわれています
6 史跡	外ヶ浜道跡(あかふら峠)	1	外ヶ浜町蟹田塩越	1995/12/18	松前藩が参勤交代に利用した道跡と伝わっています
7 名勝	鍛冶屋の一本松	1	外ヶ浜町蟹田鰯ヶ淵	1995/12/18	「外ヶ浜町立蟹田小学校」前に立つ大きな黒松です。幹周りは4mを超え、高さは2.6mほどあり、樹齢500年ともいわれています。古くは鍛冶屋がもっていた松のため、こう呼ばれています
8 名勝	巨茨	1	外ヶ浜町蟹田小国山崎	1995/12/18	住吉神社の御神木で中部地方より南に生息するマメ科の植物大阪から勧請したことを物語っています
9 有形文化財	専念寺山門と仁王尊像	3	外ヶ浜町蟹田下蟹田	2002/5/10	蟹田「専念寺」の山門、古くは鐘楼をかねていましたが、半鐘は役目を終え、本殿の前に建てられています。安政年間に建築されたと伝わっています。「専念寺山門」に安置されている仁王尊像です。隣り村蟹田広瀬の「安田和向」の作し伝わり、1体の頭部を仕上げ、これを背負ってニシン漁が盛んであった北海道へ渡り、奇進を仰ぎ像を完成させたといわれています。比較的あらたいもので、明治時代に刻まれた秀作です
10 史跡	外ヶ浜道跡(観瀾山下)	1	外ヶ浜町蟹田中師宮本	2002/5/10	松前藩が参勤交代に利用した道跡と伝わっています
11 史跡	東風留館跡	1	外ヶ浜町蟹田塩越	2002/5/10	安東水軍が館を構えたと伝えられる
12 有形文化財	観音菩薩坐像	1	外ヶ浜町平館門の沢	1989/3/31	江戸時代前期の寛文6(1666)年、蝦夷地からもどった円空が彫ったものです。一刀彫りによるもので、荒削りですが繊細さがあります、こちょこちょ様として住民に愛されたため、全体が摩耗しています。平館「福昌寺」に安置されています
13 天然記念物	推定樹齢600年の黒松 長寿の松	1	外ヶ浜町平館田の沢	2001/8/2	松前藩が参勤交代に利用した道跡沿いの松並木の中にある樹齢600年といわれる黒松
14 天然記念物	夫婦松	2	外ヶ浜町平館田の沢	2001/8/2	松前藩が参勤交代に利用した道跡沿いの松並木の中にある赤松と黒松が夫婦のように並んでいるためこう呼ばれています
15 天然記念物	藤嶋の藤	1	外ヶ浜町宇鉄藤嶋	1985/2/1	樹齢250年以上といわれ、高さ15m幹周りは1.5mの藤の木です
16 無形民俗文化財	荒馬	1	外ヶ浜町三蔵増川	1985/2/1	木製の馬首を胸部の前にくるように構えた男1名と手綱取りの女1名が1組となって踊り、荒ぶる馬を静めるような蓋能です。囃子に笛と太鼓、近年になって手平能がくわっています。ササブリ行事の行列踊りのひとつでしたが、いつの頃からその踊りが分散し、昭和の初期頃から夏のネブタ祭りに披露されることとなったようです。古くは各地域にありましたが、三蔵増川地区で伝承しているものです
17 無形民俗文化財	太刀振	1	外ヶ浜町三蔵下平5-1 (外ヶ浜町立三蔵中学校)	2008/3/19	竹の棒を太刀にみたく、笛・太鼓にあわせ二人一組で棒を打ちあわせながら踊る、五鼓豊穰を願うものです。囃子に笛と太鼓、近年になって手平能がくわっています。ササブリ行事の行列踊りのひとつでしたが、いつの頃からその踊りが分散し、昭和の初期頃から夏のネブタ祭りに披露されることとなったようです。古くは各地域にありましたが、旧宇鉄村(三蔵六休間地区)にのみ残っているものです。太刀については、竹棒や稲の穂、農耕具、鍋杖ともいわれています
18 史跡	平館陣屋跡(お仮屋)	1	外ヶ浜町平館門の沢	2018/3/31	嘉永元(1848)年に築かれた「平館台場」を警備するための藩士の屯舎として、翌年に設けられました。7反20歩(約7000㎡)、南東北3方に6尺(約1.8m)土塙、6~70名が勤務し、20~25名交代したといわれています。当時の縄張りも確認でき、掘跡も一部残っています。構築した年代、県史跡「平館台場跡」もあり、古い絵図とも合致し、往時の様子がよくわかります
1 有形文化財	観世音菩薩像	1	外ヶ浜町三蔵家ノ上	1961/6/4	県指定 円空による寛文7年頃に彫った木像の観世音菩薩像
2 史跡	平館台場	1	外ヶ浜町平館田の沢	2001/10/9	嘉永元年に築かれる 県史跡指定(2004/4/19) 嘉永2(1849)年に築かれた、大砲を据え付け海防に備えた砲台「台場」があります。江戸時代後期、異国船の動きが激しくなると、弘前藩も対応をせまられ、竜飛崎、高野崎等へ台場を設け、海岸の警備にあたりました。それらのほとんどは高台にありますが、この「平館台場」は、県内には珍しく、平地に設けられました。西洋風と呼ばれ、高さ1.5m、幅10mの土塙が扇形をなし、東西11m、南北80mに区画し、7カ所の窪みに大筒を設置したものです。しかし、開国後は、台場の重要性は薄れ、明治9(1876)年頃には廃止されています
3 重宝 (考古資料)	大平山元1遺跡出土品	122	外ヶ浜町蟹田大平沢辺34-3 (外ヶ浜町大山ふるさと資料館)	2019/4/5	今から約1万5千年以上前の縄文時代草創期のもので、伝統的な石器づくりしながらも弓矢(石鏃)という新しい道具や土器を使い始めたことがわかります。土器片は装飾や文様がなく無文のもので、平底の深鉢と考えられます。平成10(1998)年の発掘調査の出土品土器29点石器93点です。県立郷土館(青森市本町2-8-14)所有の81点もあわせての指定です
1 史跡	大平山元遺跡	1	外ヶ浜町宇蟹田大平山元	2013/3/27	旧石器時代から縄文時代のはじめまでの石器の変遷が追え、各地との交流も見ることができる石器原産地に近接した遺跡です ※詳細なページがあります
2 重要文化財 (考古資料)	宇鉄遺跡出土品	559	青森市本町2-8-14 (県立郷土館)	1991/6/21	弥生時代中期の土器、石器類、玉璽、碧玉製管玉が特徴的です。遺跡は三蔵地区の海岸段丘にある縄文時代晩期を中心とした遺跡です